

パブロフの犬

—条件反射の心理学?—



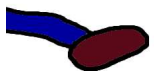
東郷 潤



パブロフ博士

さあ、みなさん。

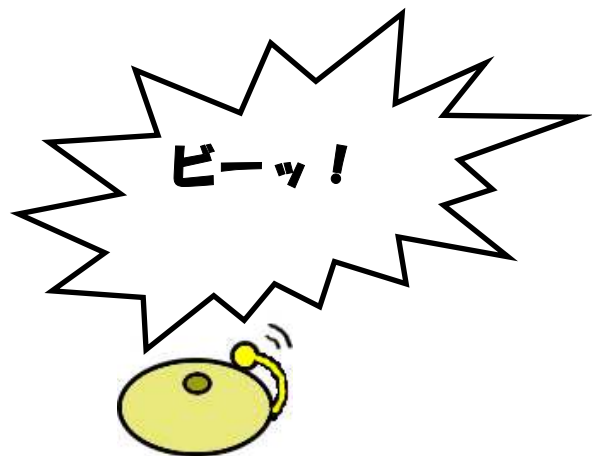
今日は、条件反射のお勉強を
しましょうね！



さあ、みなさん。

今日は、条件反射のお勉強を
しましょうね！

ベルを鳴らして

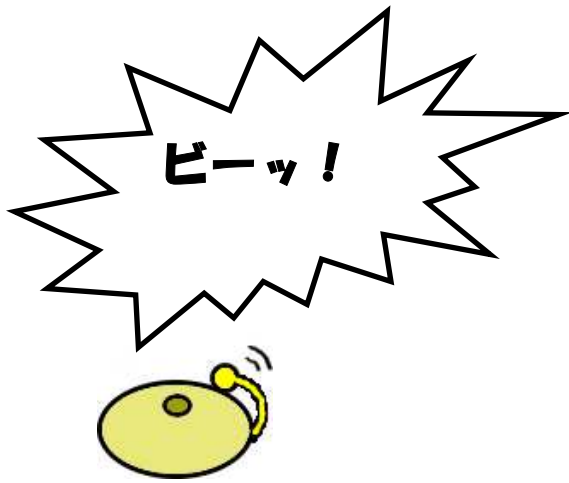


えさを与えます。

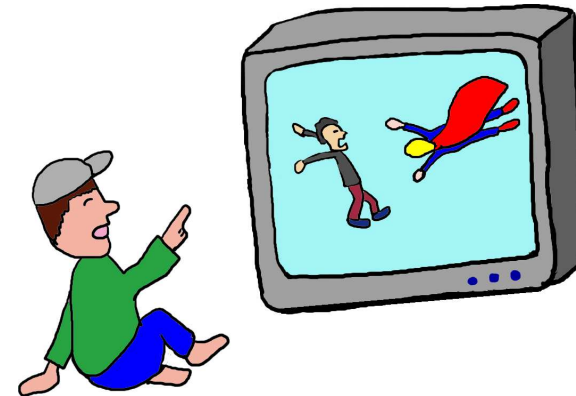
悪いと決めて



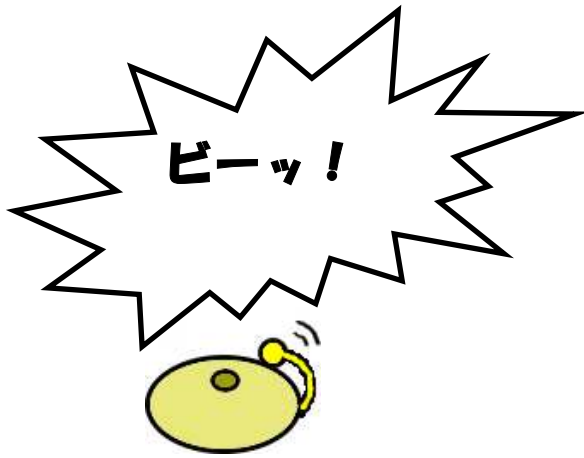
罰を与えます。



えさを与えます。



罰を与えます。

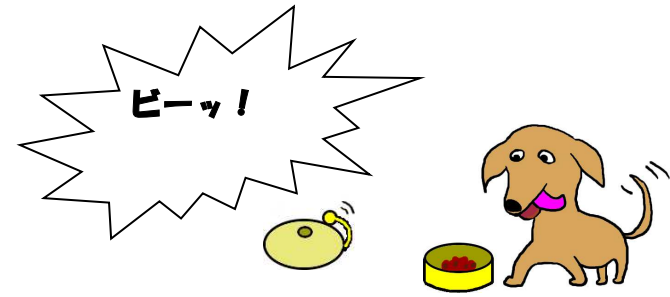
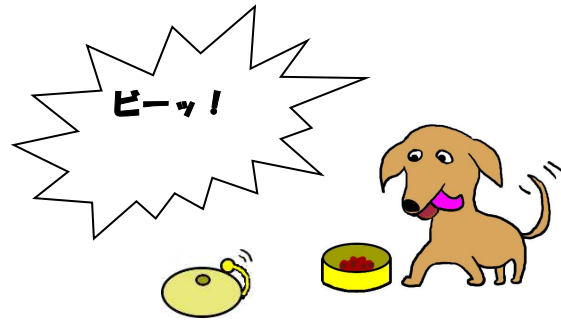
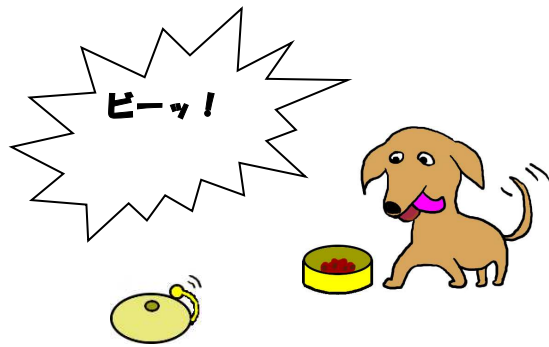


えさを与えます。



罰を与えます。

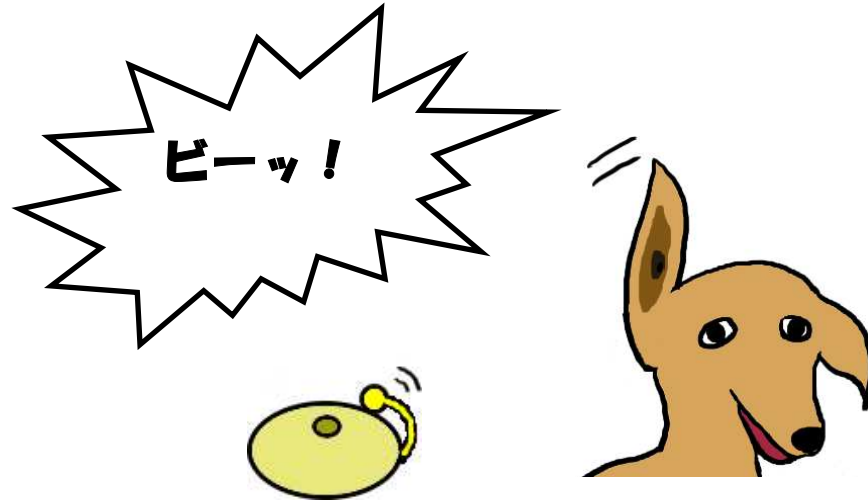
これを、何十回も繰り返します。そうすると・・・



これを、何十回、…ではなく、子供の時から何十年も、繰り返します。そうすると・・・



これだけで…



これだけで…



・・・犬の口に唾が出ます。



ご馳走を食べなきゃ！

・・・地球人の目が釣り上ります。



罰を与えなきゃ！



これが条件反射です。
この習性を利用して、犬の行動を
コントロールできます。



これが条件反射です。
この習性を利用して、地球人の
行動をコントロールできます。

あとがき

善悪という言葉／考え方は、様々な条件付けを通して、多くの人々の心を深く規定し、支配していると想像することが出来ます。そして、その支配は、善悪の錯覚とあいまって、何千年もの間、様々な悲劇を生み、幾億もの人々を犠牲として来たのではないのでしょうか。（詳細は、弊著「善悪中毒」リベルタ出版をご参照ください）。

本絵本は、そうした悲劇を地球上から無くすことを目的に、善悪を巡る心の支配の一つをテーマとして、執筆したものです。もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、商業出版を除いて自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2006